

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 (公表)

公表：令和 5年 8月 16日

事業所名 ぶどうの木

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 設備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			国の基準を満たしている。
	②	職員の配置数は適切である	○			心理士配置に向けて、準備を進めているところ。より充実したサービス提供を目指している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		1日のスケジュールを視覚的に提示している。 スロープや手すりも設置している。	
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		ケースカンファレンスの実施、毎日の打ち合わせ会議・振り返りを実施している。	
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			年に1度のアンケートに基づき、業務の見直し・改善を図っていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後、検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部ではケースカンファレンスを実施、外部の研修にも積極的に参加している。	
適 切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		部内のケースカンファレンスをもとに作成している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		関係機関で実施された発達検査の結果などを使用。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎日のミーティングで決定している。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		子供一人一人の課題やニーズをもとに、活動を考えている。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援している	○		長期休みは、イベントを計画し、余暇活動の充実を図っている。	土曜日の開所については今後検討していく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別活動で個々の課題に取り組み、集団で人とかかわりや社会性を学ぶ機会ととらえ、計画を作成している。	
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○				
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○				
⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っている	○			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換・子供の下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応・トラブル発生時の連絡）を適切におこなっている。	○		支援計画会議は、積極的に出席し情報共有・交換している。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		医療的ケアが必要な子どもは今のところ受け入れていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		今後、必要に応じて連携できるように努めていく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供等している		○		今後、必要に応じて連携できるように努めていく。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		支援者応援センターから、言語聴覚士・作業療法士の派遣をお願いして、スタッフの技術の向上を図っている。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会がある		○		今後、検討していく。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		今後、参加するように努めていく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		電話や送迎時にお話ししたり、茶話会を開いて話す機会を設けている。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○		CARE（子どもと大人の絆を深めるプログラム）の研修会を開催した。今後も開催して予定。	
	保護者への説	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		
㉑		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		専門支援のスタッフの協力を得ながら、適宜行っている。	
㉒		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者の方たちの要望に応じて、茶話会や研修会を開催し、保護者同士の交流の場を作るようにしている。	
㉓		子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			迅速かつ適切に対応できるように今後も努力していきたい。

明 責 任 等	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎日のブログ、月1回のお便りで様子を伝えている。	
	③5	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		こまめに電話連絡をしたり、お便りで伝達するなどしている。	
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後検討していく。
非 常 時 等 の 対 応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に行っている。	
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止の研修に参加した。今後も積極的に研修に参加していく。	
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス支援計画に記載している		○		身体拘束は行っていない。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			アセスメントでの聞き取りお行っているが、今後さらに状況を把握できるようにしていく。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。